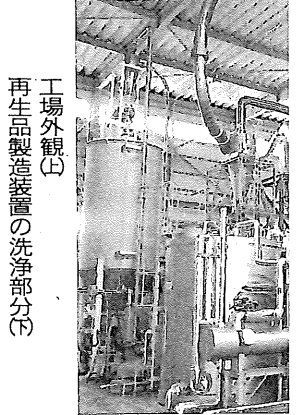
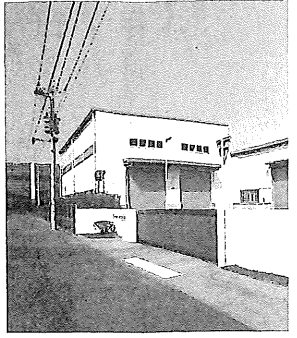


(便物承認)



工場外観(上)
再生品製造装置の洗浄部分(下)

みどり産業

プラ破碎時の事故防止

フラフ燃料化施設に導入

AI火花検知で安全対策

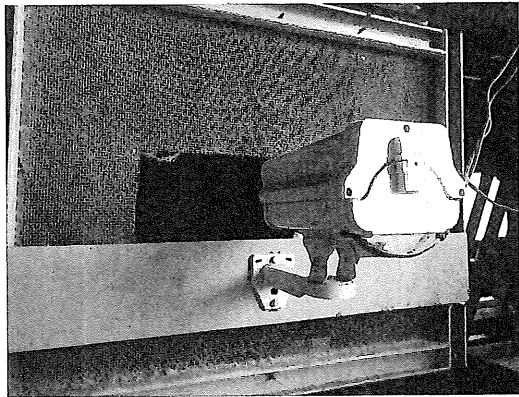
みどりの産業(千葉県
市原市、津根頼行社長、
☎0436・222・2
020)は、廃プラスチック等のフラフ燃料
化施設で、破碎工程中
に発生する発火事故を
防止するため、千葉工
場(同市)に昨年夏か
らAI技術を活用した
火花検知システム(イ
ーアイアイ製)を導入
し、成果を上げている。

工場に搬入される荷
池が混入するケースが
増えてきたため、発火
リスクに備えた。

千葉工場では、廃プラや古紙、木くずなど
月間約150トの可燃
系廃棄物をフラフ燃料
化し、製紙工場向けに
ポイラー燃料として出
荷している。一廃と産
廃の処分業許可を持
ち、原料には同社がホ
ームセンターなどから
回収した荷や、提携す
る収集運搬業者が搬入
した廃プラのボールな
どを扱っている。

導入した火花検知シ
ステムでは、前処理の
破碎工程で、破碎され
た原料がコンベア上に
落下する箇所を検知対
象としている。廃プラ
等にリチウムイオン電

池が混入していると、
破碎の衝撃で発火する
おそれがあるため、発
火事故を未然に防ごう
えて、この部分の対策
が急務だったという。



破碎工程を監視する火花検知用のカメラ

ラインを自動停止さ
せ、同時にサイレン音
で知らせる仕組み。実
際にシステムを導入し
てからの約半年間で、
火花を検知してライン

コンベ
アのキャ
ーの隙間
からこの
箇所をカ
メラで監
視し、わ
ずかな火
花でも発
生すれば
AI画像
認識技術
で瞬時に
検知して

が停止したことが二度
あったものの、いずれ
も即座に対応でき、大
事には至らなかったと
いう。

なお、リチウムイオ
ン電池を含む廃電池類
について、同社では工
場側での安全対策の
もつなげている。

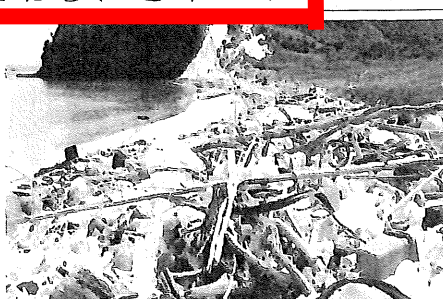
高かった。1997年
4月の創業で今年25年
目を迎える。
工場では、圧縮して
ボールで運ばれる廃P
ETボトルの異物と不
純物を取り除き、粉碎

千々木社長は、最近
のボトルにボトルリサ
イクル(BtoB)優先
の風潮には懐疑的だ。
「日本のペットボトル
は97%近く回収再生さ
れ生活に不可欠な衣類

せば3年でなくなる。
ケミカルリサイクルで
BtoBを行えば従来の
マテリアルリサイクル
の3~5倍のエネルギー
を必要とする。すで
にリサイクルされてい

着陸プロットの燃料化
設備(エルコム製)に
加えて、対馬市沿岸に
漂着する漁業用硬質P
イや漁具、PETボト
ルなど漂着ごみの約半
分を占める漂着プラの

ように特殊設計され、
投入、排出は全てコン
ベア搬送の半自動化ラ
インとなっている。破



対馬市の海岸を覆う漂着プラスチック

海洋プラごみでハイブポット

秋田エコプラッシュ

能代市内の小学生に寄贈

秋田エコプラッシュ
(本社・秋田県能代市、
松井隆伸社長、☎01
85・58・560
0)は2月14日、子供

たちの環境問題に対す
る啓発活動の取り組み
の一環として、能代市
内の小学4年生に「海
洋プラスチックごみか
ら作ったハイブポット

「次世代を担う子供た
ちが、環境問題と向き
合うきっかけにした
い」と述べている。
今回寄贈したハイブ
ポットは、回収した海
洋プラスチックごみを
30%含むリサイクルプ
ラスチックで製造して

形品製造・セットアッ
プまで一貫して同社が
行った。松井社長は、

(公財)日本容器包装
リサイクル協会は、2
022年度のガラスび
ん、紙製容器包装、プラ
スチック製容器包装、
PETボトル(上期の
み)の素材の落札結果
が出そろった。全素材
の中で、PETボトル

4万円最高値

落札結果 19万tで微増

包装は、前年より落札
数量を1万2760ト
増やし、68万9155
トとなった。プラ製容
器の材料R優先枠は、
入札可能量の50%だっ
た。材料Rの落札単価
は、6万4833円/ト

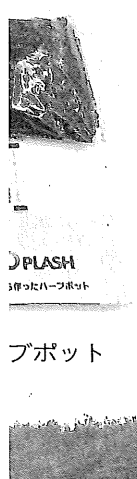
万円以上の処理費は、
材料リサイクルが6万
4833円で、白色トレ
イの6万5067円が
最も高いが落札数量が
360トで少ないため
単純な比較はできな
い。コークス炉化学原
料化は前期より400

微減、その他が14万1
629トで前年より3
344ト増やした。合
計が34万9589トで
1526トの微減。
紙製容器は、落札単
価は、処理費が280
5円/トで前年とほぼ
同じ。数量は、2万1

の輸出が困難になると
の予測から落札単価が
7923円となり、近
年では最も低かった。
今回は、5万6000
円以上も高くなったこ
とになる。原油高で落
札単価が上がったこと
もあるが、西日本でも

回収・選別・材料化・成
設(本社・秋田県能代
市)
回収したハイブポット
の素材の落札結果
が出そろった。全素材
の中で、PETボトル

回収したハイブポット
の素材の落札結果
が出そろった。全素材
の中で、PETボトル



ハイブポット